

## 第 8 回札幌市感染症対策本部会議 会議録

日 時：令和 2 年 4 月 2 日（木） 18 時 00 分～18 時 20 分

場 所：本庁 12 階 1～3 号会議室

出席者：別紙座席表のとおり

### 【危機管理対策室長】

ただいまから、第 8 回札幌市感染症対策本部会議を開催いたします。

昨日、国の専門家会議から、新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言が出されたことなどを踏まえ、本市の対応状況や今後の対策について共有をはかるため、本日の会議を開催いたします。

それでは、会議次第の(2)「現時点の発生状況と対応状況の報告」、(3)「専門家会議における新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」について、一括して事務局からご報告いたします。

### 【危機管理対策部長】

資料「札幌市の新型コロナウイルスに係る対応（概要）」をご覧ください。現在の札幌市の感染者は 81 名となっております。本日、1 名の死亡が確認されています。

その他の市有施設に関しては、一部、4 月 1 日から利用を開始しているところです。

国の関係では、4 月 1 日に対策本部会議が開かれています。専門家会議については、後程ご説明いたします。

北海道の状況は、4 月 1 日に知事の会見が行われ、転出入時期における注意喚起がなされたところです。

直近 1 週間ごとの患者等の状況については、新規感染者数が 6 名、そのうち、リンクありが 2 名、リンクなしが 4 名となっております。その一週間前には、新規感染者数 8 名、そのうちリンクあり 2 名リンクなし 6 名となっており、新規感染者の増加数は抑えられています。

次ページからのグラフは、札幌市における 4 月 2 日現在の発症状況や濃厚接

触の有無別の感染状況、陽性者の状況をまとめたものです。

次に、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の報告についてご説明します。資料は、「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」をご覧ください。

国内の状況分析としては、新規感染者数は都市部を中心に急増しています。この分析を踏まえて、提言の中で、地域区分についてお話がありました。

3月19日の提言で3つの地域区分が示されたところですが、今回の専門家会議で、それぞれの地域について、はっきりとした定義がなされたところです。

地域区分の考え方については、地域区分は大きく3つに分けられていて、1つが感染拡大警戒地域、2つ目が感染確認地域、3つ目が感染未確認地域、です。

まず1つ目の感染拡大警戒地域ですが、直近1週間の新規感染者数やリンクなしの感染者数とその1週間前と比較して大幅な増加が確認されているが、爆発的患者急増とまでは至っていない。そのような地域を感染拡大警戒地域としています。

2番目の感染確認地域を飛ばして、3つ目の感染未確認地域は、直近1週間において、感染者が確認されていない地域という定義となっております。

2の感染確認地域に戻りますが、1（感染拡大警戒地域）でも3（感染未確認地域）でもない地域、直近1週間の新規感染者数やリンクなしの感染者数とその1週間前と比較して一定程度の増加幅に収まっている地域となっております。

取組として、3つの密を回避する対策や、地域の医療体制の確保について、提言がなされたところです。

その他、文部科学省の通知、北海道の本部会議資料も添付しておりますので、後程ご確認ください。

事務局からは以上です。

#### 【危機管理対策室長】

続きまして、会議次第（4）各局区における取組状況についてご報告をいただきます。市民文化局 お願いします。

**【各本部員（各局局長職）】**

（市民文化局 資料なし）

3月下旬から4月上旬にかけて、転入・転出で窓口が大変混雑する時期です。そのため、前もって混雑緩和を周知しております。

具体的には、札幌市ホームページにバナー掲出しているほか、地デジのデータ放送を活用して、混雑緩和への呼びかけをしているところです。

そのほか、各区役所の取組として、すべての区ではありませんが、インターネットで公開している窓口の呼び出し番号、待ち人数といったものをお手元のスマホで確認することができます。こういったものを利用して、込み合うロビー以外の離れた場所で待機できます。また、玄関の扉や窓を定期的に開放する換気の実施ですとか、待合場所を密集させないように離して配置をする、あとは郵送で出来るものをPRしています。

例年の繁忙期対応として、窓口の時間延長、平日は夜7:00まで、土・日は午前中に開設しております。

現在の混雑状況ですが、昨日、4月1日は例年ピークを迎える時期で、100人を超える待ち状況となりますが、例年より1割か2割程度来庁者が少ないという報告を各区より受けております。これは、転入者が分散していることともありますが、4月6日(月)が再び混雑が予想されることから、引き続き繁忙期対応を徹底していきたいと考えております。

**【危機管理対策室長】**

その他、ご報告のある方はいらっしゃいますか。

無いようですので、今後の対応等について、本部長である秋元市長からお願いいたします。

**【本部長（秋元市長）】**

新型コロナウイルス感染症については、札幌市内の感染者発生数は一定程度に抑えられているものの、本日、患者様のお一人がお亡くなりになるなど、重症化リスクの高い疾病であることから、引き続きしっかりと対応が必要で

あると考えています。

国内の感染状況は、昨日、国の感染症対策専門家会議の中で「新規感染者数は都市部を中心に急増しており、爆発的感染拡大が見られている諸外国に比べると、感染者数の拡大スピードは緩慢であるものの、既に医療提供体制が逼迫しつつある地域もある」と分析されているところであります。

また、先ほど事務局から説明があったとおり、感染状況に応じた地域区分が改めて示されるとともに、3つの区分「感染拡大警戒地域」、「感染確認地域」、「感染未確認地域」の基本的な考え方と想定される対応などが示されました。

札幌市は、先週、今週の発生者がどちらも1ケタの感染者数に留まっている状況から、「感染確認地域」に該当するものと認識しています。

専門家会議では「感染確認地域」における対応として、

- ・「3つの密」を徹底的に回避したうえで、感染拡大のリスクが低い活動については、実施する
- ・屋内で50名以上が集まる集会やイベントは控える
- ・感染拡大の兆しが見えた場合にはリスクが低い活動も含めて対応をさらに検討する

ことが示されています。

そこで、私から、2点指示します。

- ・まず、感染による影響を踏まえた対策についてであります。
- ・まずは、感染拡大の防止や、医療提供体制の強化を最優先で取り組んでください。
- ・そのうえで、当面厳しい状況が続くものと思われる市民生活や経済状況について、雇用の維持や、生活に困っている方への支援などセーフティネットの更なる充実を図ってください。
- ・今後、感染状況や社会・経済情勢を見極めながら、国や道とも歩調を合わせ、追加の補正予算の編成も含め、時機を逸することなく、機動的に取り組んでください。
- ・また、昨日から市有施設を一部再開していますが、リスク回避のための感染予防対策の徹底を図り、慎重に対応するようにしてください。
- ・次に学校の再開についてであります。市立学校については、札幌市教育委

員会から各学校に通知した学校再開のガイドラインに従って、各学校で感染予防の対策をしっかりと行ったうえで、再開するようにしてください。

- ・再開に不安を持つ児童生徒や保護者の方が多いことから、その気持ちに寄り添い、丁寧に対応するようにしてください。
- ・なお、再開後にあっても、引き続き、国の動向を確認しつつ、北海道と連携し、感染拡大の兆しが見られた場合には、速やかに分散登校や臨時休業することができるよう準備を進めてください。

市民と事業者の皆様に対しては、専門家会議の提言を踏まえて、

- ① 「換気の悪い密閉空間」での行動
- ② 「人が密集している」ところでの行動
- ③ 「近距離での会話や発声が行われる場所」での行動

この3つの条件に合致する場所での活動については、引き続き、自粛をお願いいたします。

加えて、3月末から4月にかけては、転入・転出の時期であり、人が多く移動している状況から、今後、2週間程度は、感染が広がる恐れがあるため、引き続き、市民の皆様には感染予防の行動を徹底していただくようお願いします。とりわけ、感染が拡大している首都圏、近畿圏への不要不急の旅行や出張は今しばらく控えていただくよう合わせてお願いいたします。

引き続き、「かからない、うつさない、なやまない」の3つを念頭に、感染予防に努めていただくとともに、何か体調不良など不安等を感じる方は、札幌市の相談窓口（011-632-4567）までご連絡をお願いします。私からは以上です。

#### 【危機管理対策室長】

各局区におかれましては、ただ今の本部長からの指示事項を受け、今後の対応をよろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。